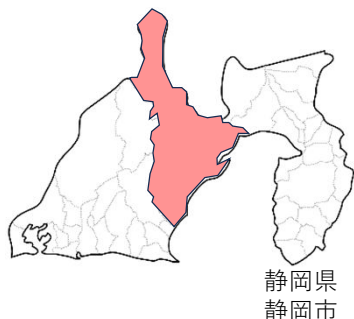




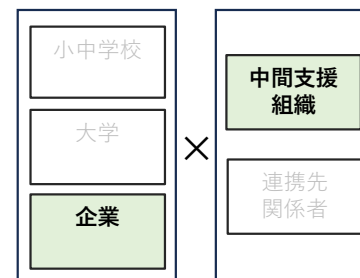
静岡県
静岡市

取組のポイント

静岡県が運営している農村と企業・大学のマッチング支援ポータルサイト「むらマッチ」により活動組織と株式会社アクタガワ（ライフケア、子育て事業等を行う地域密着型企业）がマッチング。活動内容に関する打合せの結果、草刈り作業を実施。作業後にはバーベキューなどのレクリエーションを取り入れ、活動2年目となる令和5年度には約60名が参加し、活動の輪が拡大している。

連携先

連携の仲介者



地区概要 ※R4年度時点

- ・認定農用地面積 45.9ha
(田3.9ha、畑42.0ha)
- ・主な構成員 農業従事者、自治会
- ・交付金 約2.3百万円(R4)
- ・取り組む活動 農地維持支払
資源向上支払(共同・長寿命化)

連携の契機

- ・(株)アクタガワは農業関係の地域貢献活動として、地域の特産であるワサビ栽培を計画。「しずおか農山村むらづくりワンストップ窓口」に相談したところ「むらマッチ」に登録していた「はばたけ大川」とマッチング。打合せを進める中でまずは参加しやすい草刈り作業を行うこととなった。

企業が参加するメリット

- ・草刈作業やバーベキュー等は、社内コミュニケーションの場となっている。
- ・地域貢献やSDGsへの貢献が社員のモチベーションを向上。
- ・報道番組で紹介されたことで企業イメージの向上にもつながった。

活動組織の連携前の状況

- ・農業者の高齢化により、農道等の保全管理も困難となってきたり、農地・農業用施設の適正な保全管理のため、地域外との連携の拡大を図ろうとしていた。

活動のポイント

- ・作業の後にはレクリエーションも取り入れる等、活動に楽しみを見出すことが重要。
- ・活動の受け入れは慣れるまでは大変であるが、経験によりノウハウが蓄積され様々な取組ができるようになる。



草刈りに約60名の従業員が参加

企業の連携前の状況

- ・地域密着型企业として、介護サービス等の事業を展開。企業理念として従来から、地域貢献活動に積極的に取り組んでいた。

連携後の活動実績等

- ・組織・企業の両者とも、来年以降も連携活動を継続したいと考えている。
- ・静岡県が主催する「農村サスティナブルフォーラム」でパネルを掲示するなど、連携やSDGsへの貢献をPR



フォーラムでパネルを展示

静岡県における中間支援体制

都市と農村の協働により活性化をはかる取組。マッチング支援ポータルサイトの「むらマッチ」では、企業等が気になる組織や活動を伝えればニーズに合った農村を県が提案。ニーズが合わなかった場合にも修正案を掲示して連携実現につなげている。他にも「一社一村しずおか運動」、「むらづくりワンストップ窓口」、「しずおか農山村サポーター『むらサポ』」など複数窓口を用意しており情報共有が図られている。



「一社一村しずおか運動」の協働のイメージ



「むらマッチ」のトップページ

外部組織との連携のプロセス

連携前の状況

- 草刈りなどの遊休農地発生防止のための保全管理や農道の保全を主に行っている。
- 少子高齢化が進み、組織だけでは管理が難しくなっている。

連携の契機

- (株) アクタガワは従来よりCSR活動に取り組んでおり、令和3年度にはSDGs宣言を公開。新たに農業関係の活動を模索し、県に相談。静岡県が運営する「むらマッチ」に登録していた「大川地区」を紹介された。

活動内容の検討

- (株) アクタガワは当初、特産品のワサビ栽培を計画。日々の管理など受入側の負担が大きいため、県を含む3者で活動内容について検討し、まずは草刈りから始めることとなった。

連携のポイント

- 作業と合わせてバーベキュー等のレクリエーションを行い、企業側のメリットも意識した。

企業のメリット

- 職場が分散しており、社員同士で顔を合わせる機会が少なかったため、今回の活動は、社内コミュニケーションを図る良い機会となった。
- 地域貢献やSDGsへの貢献を実感し社員のモチベーションが向上した。



活動後の集合写真



草刈りの様子

取組の成果・今後の展望

- はばたけ大川では、高齢化等により困難となりつつある茶園の管理についても、企業による連携支援を期待しており、今後、既存の取組の継続・拡大を図りつつ、新たな企業との連携構築も検討する意向。

静岡県「農村サステナブルフォーラム」にてパネルを掲示 (R5)

フォーラムにて、連携活動に関するパネルを掲示。SDGsへの貢献についてもPRした。

活動の様子をPR (R5)

- 企業HP(CSR活動紹介、採用募集)にて活動をPR。報道番組でも紹介され、企業イメージの向上に貢献。



草刈機の使い方の講習